



社会民主党いわき双葉総支部

連絡先 いわき市内郷綴町堀坂 18-1
☎ & Fax 0246-68-6727

いわき・双葉の皆さんへ いわき双葉総支部 7月期街頭宣伝行動

トリチウム海洋放出・原発回帰のGX法にNOを!!

「関係者の理解なしにいかなる処分も行わない」という政府・東京電力と漁連関係者との文書約束(2015年)。政府は、「約束は守りたい」と言いながら、すでに「海洋放出のためのトンネル工事は完成間近」で、「放出時期(夏ころまでに)」まで決めてしまっています。原発事故の加害者が、被害者に対して「理解」を強要するようなやり方に、私たちは強く抗議し、海洋放出に反対します。

また、岸田政権は、原発事故から12年で、脱炭素・電力安定供給を名目に「原発の新增設」「60年超の運転も可能」といった原発回帰のGX脱炭電源法を成立させました。原発事故から「何も学ばない、何も学べない」日本。このままでいいのでしょうか

「海洋放出反対」の声よ届け!! 政府・東電に計画撤回を迫る

「ALPS 処理水海洋放出」政府・東京電力説明会開催 6月4日 労働福祉会館

「ALPS 処理水海洋放出政府・東京電力説明会」を、6月4日開催しました。

この説明会は、市内の4労働団体3政党で構成する実行委員会が、「海洋放出についての疑問・



質問・意見」を、政府・東京電力に直接ぶつけて、海洋放出に反対する意思を伝えようと開催されたものです。

説明会当日は、いわき市内外から150名以上の市民が参加、会場が満席になり、この問題への関心の高さを示しました、

冒頭、政府・東京電力から今回の計画についての説明を受け、その後、実行委員会構成団体、参加者からの意見・質問に国・東京電力が答える形で進められました。

参加者からは、「トリチウムは本当に安全なのか、海水浴のシーズンになるが心配

で子供を海に連れていけない」「放出までに関係者の理解を得れば良い」という政府の対応が、生業の回復を目指す漁業関係者を傷つけている自覚を持っているか」「説明会の開催を求めているが、返事はなしのつづてだ。私たちの声を聴く場を設けてもらいたい」などなどの意見・質問が出され、総論として、一旦計画を撤回して関係者の思いを聞くべきだ」と迫りましたが、「反対のあることは承知している。理解をえられるよう努める」と述べるにとどまり撤回の意思表示はありませんでした。



質問意見を述べる参加者の皆さん

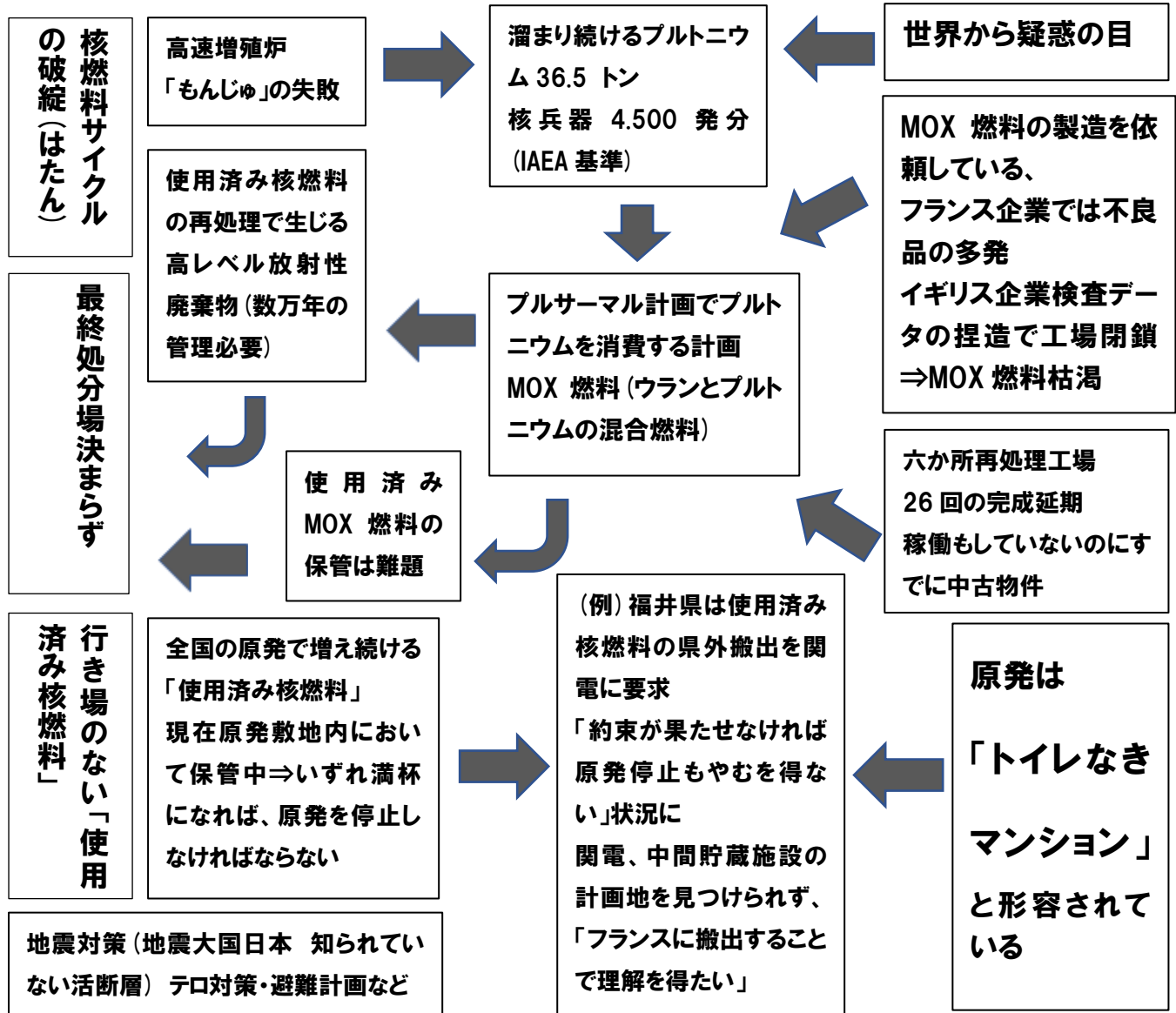
原発事故から 12 年、政府は反省もなく原発回帰を決めた

5月31日、「GX 脱炭素電源法」が成立しました。この法律は既存原発の運転期間延長(60年超運転が可能)や次世代型原発の開発・建設をすすめることが盛り込まれています。

福島第一原発の過酷事故は、「日本の原発で事故は起きない」といった身勝手な安全神話に陥っていた国や東電が引き起こしたのと言っても過言ではありません。

さらには、**原発の運転によって引き起こされている課題・問題が山積しています。それらの解決策も提案されず(見つけられず)、原発回帰の政策だけが決定されました。無責任!!**

問題山積 見て見ぬふり! 課題解決先送り これでもいいの?



社民党福島県連合(狩野光昭代表)は、6月12日福島県に、今回成立したGX 脱炭素電源法は、「東京電力第一原発事故の教訓」を白紙に戻す政策転換だとして、国に対して公聴会開催などを働き掛けるよう要請しました。



社民党いわき双葉総支部議員団

いわき市議会議員 上壁 充 狩野光昭 檜葉町議会議員 猪狩 守